

令和5年度「船上山アカデミー」実施報告書

I 事業の概要

I 期日 令和5年12月26日(火)～28日(木) ※2泊3日



2 日程

12月26日(火)	12月27日(水)	12月28日(木)
14:00 出合いのつどい 14:20 オリエンテーション 荷物移動 14:50 交流レクリエーション 15:30 学習予定を立てよう 16:00 個人学習① 17:00 夕食 18:15 プラネタリウム体験 19:30 個人学習② ふりかえりタイム① 20:30 入浴(自習) 就寝準備 22:00 就寝	6:30 起床 7:00 朝のつどい 7:30 そうじ 8:00 朝食 9:00 個人学習③ 11:00 ニュースポーツ 12:00 昼食 13:00 みんなで学習① 14:15 個人学習④ 15:45 休憩 16:00 学習のススメ 16:45 休憩・着替え 17:00 キャンドルヨガ 18:00 夕食 19:00 みんなで学習② ふりかえりタイム② 20:00 入浴(自習) 就寝準備 22:00 就寝	6:30 起床 7:00 朝のつどい 7:30 そうじ 8:00 朝食 9:00 退所点検 9:10 みんなで学習③ 10:10 クラフト 11:00 個人学習⑤ 12:00 昼食・感想記入 13:00 個人学習⑥ 14:00 荷物整理・片付け 14:15 ふりかえりタイム③ 感想発表 14:30 別れのつどい 15:00 解散

3 ねらい

- ・自ら掲げた学習課題に個人で取り組み、意欲の向上を図る。
- ・交流活動や集団生活を通して、自律した生活態度や互いにより良い関係を築こうとする態度を養う。



4 講師

- ・国際ナショナルクロスフィットネス協会 山崎 あい氏
- ・山陰モバイルプラネタリウム 小川敦司氏



5 対象 小学4年生～中学3年生 36名

6 応募者数・当日参加者数

応募者数32名、当日参加者数31名 (小学生:26名 中学生:5名)

7 参加費 4,600円

8 サポーター

26日(火)～28日(木) 島根大学生7名、鳥取環境大学生1名
27日(水) 大山青年の家 指導員2名



II 実施状況

■ 1日目の活動<12月26日(火) 天候 晴れ>

14時から出会いのつどいを行い、船上山少年自然の家の職員のユニークな自己紹介で場を盛り上げた。参加している子どもたちは若干緊張していたが、施設の使い方のオリエンテーションや、これからの予定についての説明をしっかりと聞いて2泊3日の船上山アカデミーに向けて気持ちを引き締めている様子であった。

まず始めに、交流レクリエーションとして、体育館でじゃんけんレクを行った。学生サポーターも一緒に参加し、お互いに自己紹介をしながら交流を図った。レクリエーション後半では、自分の背中に貼ってあるカードの動物を当てるゲームを行って行く中で、活動を通して参加者の緊張もだんだんとほぐれていく様子が伺えた。

交流レクリエーションの後は、2泊3日の学習を進めていくにあたり、その日の進捗と達成状況が確認しやすいように、自身が達成したいと考えている目標を1日ごとに分けてカードに記入してもらった。

個人学習の時間では、まずは冒頭5分間に頭ほぐし問題を提示した。その後はひとりでじっくり学習に取り組む時間、残りは分からないところを質問する相談タイムの時間とした。学生サポーターに机間をまわってもらいながら参加者からの質問を受けたり、手がとまっていたりする児童生徒に声をかけてもらったりして、解き方を教える支援を行ってもらった。

夕食後には、体育館内に組み立てたプラネタリウムドームを使い、鳥取県で観察することのできる星空について講師の小川さんに解説をしていただいた。ドームの中で映像を見ながら天体に興味関心をもてるひとときとなった。



■ 2日目の活動<12月27日(水) 天候 くもり>

午前中の個人学習の後、体育館で班対抗のカローリングを行った。学生サポーターにも子どもたちのチームに入ってもらい、一緒に体を動かした。活動にメリハリをつけることで参加者全員が心も体もリフレッシュすることができていた様子だった。子どもたち同士で応援しあったり、アドバイスをしたりする姿が見られ、良い関係ができていたことが感じられた。

午後からは、班ごとに学び合うみんなで学習を行った。1回目のみんなで学習では、「TOP5ブラックジャック」で、色々な項目のランキングについて順位を予想し、ワークシートにまとめて発表してもらった。まずは個人で予想を考えてから、考えた理由をもとにグループで話し合い、各班一つの予想を立ててもらい全体で発表した。異学年間であったが、自分の考えを出し合って話し合う姿を見ることができた。

休憩時間を挟んだ後、今回の主催事業に参加している学生サポーターの代表2名から、学習方法についてのアドバイスや、自身の体験談



などを話してもらった。年号を楽しく覚えるコツや、学習したことを忘れないための必勝法など、これから受験を控えた参加者もいる中で、しっかりと話を聞いている姿が印象的であった。

学生サポーターの講話終了後、夕方からヨガ講師の先生を招いて、体育館でキャンドルヨガを行った。最初は参加者全員でポーズをとりながら体を慣らしていき、ヨガ後半では、体育館の暗幕を締め切り、キャンドルの炎のゆらぎを見つめながらゆっくりとストレッチや瞑想を行った。静かな空間でリラックスして、勉強から解放されたひとときを感じながら集中力を高めている様子を感じられた。

夕食後、2回目のみんなで学習では、あるなしクイズを班ごとで考える学習活動を行った。自分の考えたあるなしクイズを班のメンバーで解き合い、最終的にグループ全体で問題を出し合った。班の中でうまく意見をまとめあって作られているクイズもあり、相談しながら楽しんで作成している様子であった。

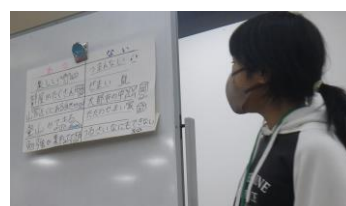
■ 3日目の活動<12月28日(木) 天候 晴れ>

最終日では、3回目のみんなで学習からスタートした。この日はクイズ問題を出し、個人で問題を考えた後、班で考えた意見を出し合い協力して問題を解いてもらった。班で話し合う場面では、学年が下の児童の方がよいひらめきがあり活躍する場面も見られ、考えを伝えあいながら学び合う姿が印象的であった。

その後のクラフト活動では、これから迎えるお正月に使えるミニ正月飾りを作ってもらった。マスキングテープの位置をアレンジしたり、飾り付けを工夫したりしながら丁寧に作品を作っていた。

この日の個人学習は、午前と午後合わせて2時間と、前日に比べ時間が短めだったが、学習のルールも2日間で浸透し、それぞれの課題に集中して取り組む姿が見られた。個人学習の後に、個人で立てた目標がどれだけ達成できたか1日目に記入してもらった目標カードを使って振り返る時間を設けた。頑張って学習課題に取り組んだことで目標がおおむね達成できたという声がほとんどであったことから参加者の満足度の高さが伺えた。

昼食後、片付けを行い、各班で2泊3日の感想を伝えあった。別れのつどいでは、3日間の活動を振り返るスライドショーを鑑賞し、迎えに来られた保護者の前で各班代表が感想発表を行った。学生サポーターからも一言ずつアカデミーへ参加した感想や、参加者へのメッセージを発表してもらった。最後に、お世話になった学生サポーターからアカデミー修了証を一人一人に授与してもらい、無事に全日程を修了した。



Ⅲ 総括

Ⅰ アンケート結果

《参加者の満足度》

(参加者31名 アンケート回収率 87% 27名)

事業全体の満足度:満足 24名、おおよそ満足 3名

※都合により途中退所 3名



《参加者の感想(抜粋)》

- ・友だちもできて、冬休みの宿題もほとんど終わって楽しかったです。(小4)
- ・学習の目標を達成することができました。また来年も参加したいです。(小5)
- ・みんなで学習をしたときに、説得力のあるわけを伝える大切さを学びました。大学生のサポーターの勉強法も知れたので参考にしたいと思いました。(小5)
- ・友だちもサポーターさんも施設の人も関わりやすかったです。(小6)
- ・勉強に集中して取り組むこと、いろいろな人と関わることができました。最初はすごく不安だったけど、新しい友だちがつくれたし、大学生の方としゃべれるという貴重な時間を過ごすことができました。(中2)
- ・大学生の分かりやすい解説で数学が好きになれそう。高校生になってもまた来たいです。(中3)

2 成果

- ・勉強と遊び、体を動かす活動の時間を分けることによってメリハリのある生活を行い、結果として時間を守ることに繋がった。勉強だけではなく、プラネタリウムやキャンドルヨガなどを体験してもらうことによって参加者に満足してもらうことができた。
- ・普段関わり合う機会が少ない大学生のサポーターに学習を教えてもらうことで、一人では達成しにくい課題にも取り組むことができた。集中できる学習環境を整えることによって個人学習だけでなく、異学年間で行うみんなで学習でも意見の交流が活発になり、学年を隔てて学びが深まる様子が伺えた。

3 課題

- ・時期的なこともあり、学生サポーターの人数を十分に集めることが難しかった。主催開催より早い段階で関連大学に働きかけ、人数の確保に努めていきたい。
- ・参加者の感想で、夏などの長期休みにもアカデミーを開催してほしいと要望があった。今後主催として実施可能かどうかの検討する必要がある。